

生活科学習指導案

指導者 呉市立三坂地小学校 佐伯 友香

- 1 日 時 平成26年6月25日(水) 14:30～15:15 (5校時)
- 2 学 年 第2学年1組 (男子15名 女子18名) 計33名
- 3 単 元 夏がやってきた ～しゃぼん玉のひみつをみつけよう～
- 4 単元について

○単元観

本単元は、小学校学習指導要領生活の内容(6)「身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりなどして、遊びや遊びに使う物を工夫してつくり、その面白さや自然の不思議さに気づき、みんなで遊ぶを楽しむことができるようにする。」を受けて設定したものである。夏は暑さを利用して、水と関わる活動が設定しやすい。この季節だからこそできる遊びとしてシャボン玉遊びを設定した。

虹色に光る美しいシャボン玉には、児童を引き付ける魅力がある。シャボン玉遊びは、児童がこれまで一度は経験したことのある遊びである。しかし、それは市販の道具でのシャボン玉遊びである。本単元では、身近にある道具や材料を使うことで、自分なりに考え、工夫して遊ぶことができると考える。また、遊びの中で何度も創意工夫を重ね、「こうしたらこうなった」「次はこうしたい」といった気づきが生まれ、「振り返り表現する活動」が取り入れられると考える。さらに、個々の学びだけでなく、友だちと一緒に考えたり、見せ合ったりという自然な関わり合いの姿が期待できる。一人一人の活動を大切にしながら、友だちと「伝え合い交流する活動」もできると考える。

○児童観

本単元を行うにあたって、次のようなアンケートを行い、実態調査を行った。

質問項目	はい (名)	いいえ (名)
①生活科の学習が好き。	34	0
②シャボン玉遊びをしたことがある。	34	0
③自分で作った道具でシャボン玉遊びをしたことがある。	15	19
④「はっけんカード」に発見したことや「ひみつ」を書くことができる。	28	6
⑤「発見したこと」や「ひみつ」を友だちに伝えることができる。	25	9
⑥友だちの「発見したこと」や「ひみつ」を聞くと、勉強になると思う。	34	0

このアンケート結果を分析すると次のことが分かる。本学級の児童は全員が「生活科の学習が好き」と答えている。「発見」や「ひみつ」を見付けるということも意欲をもって取り組んでいる。しかし、それをカードに書いたり、友だちに伝えたりすることに苦手意識をもっている児童もいる。

○指導観

指導に当たっては、次のことに留意して取り組む。

- (1) 児童自身が学習計画を立てて取り組んでいると思わせる授業展開にすること。

児童が「自分たちもシャボン玉であそんでみたい」「大きいのをつくってみたい」という思いがもてるように学習の導入には、視覚資料を提示したり、指導者が実際にシャボン玉を作って見せたりする。また、児童の「困ったな」という問題意識を取り上げ、次の問題解決の方法を児童自身が見つけられるようにしていく。

(2) 児童に気付かせたいことを明確にしておく。

①材料

水と食器用洗剤のみを取り扱う。その中で、「水が多すぎる（洗剤が少なすぎる）と上手くできない」などに気付かせたい。ただし、水と洗剤の割合（濃度）については、取り扱わず感覚的に気付かせていきたい。

②道具

ストロー、ラップやトイレットペーパーなどの紙でできた筒、ペットボトル、牛乳パック、フライ返し・泡だて器・ざるなどの調理道具、毛糸など身近な材料を学年通信で保護者に知らせ、児童に持って来させるようにする。いろいろな道具を使ってしゃぼん玉を作ることを通して、「ストローは先を切って広げたら大きくなること」や「大きな穴の方が大きくなること」などに気付かせたい。

③方法（吹き方・飛ばし方）

材料によってやり方が異なるが、「ゆっくり吹いた方が大きくなること」や「風の向きに合わせると大きくなること」などに気付かせたい。

(3) 場の設定

児童が十分シャボン玉遊びができるように、活動場所として水道が近くにあり、濡れても良い場所を確保しておく。振り返りを書く活動は、移動式のホワイトボードを活用して、気付きを小さなカードに書き、共有する場を設けていく。

(4) 小集団の活用

友だちに気付きを伝えることに苦手意識をもっている児童が、友だちと関わりをもちやすくするために4～5名から成る小集団（班）での活動を取り入れていく。

また、書くことが苦手な児童には、個別に声をかけ、児童の思いを引き出していくことにより、書くことにつなげていく。

5 単元の目標

- 身近にあるものを使って、工夫してシャボン玉遊びに使うものを作り、その面白さや不思議さ気付き、友だちと気付きを交流することで、みんなで楽しむことができるようにする。

6 単元の評価規準

	ア 生活への 関心・意欲・態度	イ 活動や体験についての 思考・表現	ウ 身近な環境や自分についての 気付き
遊 び (6) 自然や物を使った	身近な物を利用したシャボン玉遊びに関心を持ち、楽しく遊ぼうとしている。	作りたいシャボン玉を完成させるための方法や道具を考えたり、工夫したりして、自分なりの方法で表現している。	シャボン玉をつくる面白さやみんなで遊ぶ楽しさに気付いている。

7 指導計画 (全6時間) 本時4/6時間

次	学習活動 (時数)	評 価				
		関	思	気	評価規準	評価方法
1	シャボン玉ってたのしいね ○ストローを使ってシャボン玉を作る。 ○どんなシャボン玉をつくってみたいか, 考える。(1)	◎			○身近な物を利用したシャボン玉遊びに関心をもち, 楽しく遊ぼうとしている。ア	行動観察
2	シャボン玉のひみつをみつけよう ○いろいろな道具を使って, シャボン玉を作って遊ぶ。(1)		◎		○作りたいシャボン玉を完成させるための方法や道具を工夫している。イ	行動観察 発言 カード
	○大きなシャボン玉をつくる道具を作る。(1)		◎		○大きなしゃぼん玉を作るための道具を考え工夫して作っている。イ	行動観察 発言 カード
	○大きなシャボン玉をつくるひみつを見つける。(本時1)			◎	○大きなシャボン玉を完成させるための方法に気付いている。ウ	行動観察 発言 カード
	○毛糸だけで大きなシャボン玉を作る。(1)		◎		○毛糸を使ってシャボン玉を完成させるための方法を見付け, 自分なりの方法で表現している。イ	行動観察 発言 カード
3	おしえてあげるよシャボン玉 ○見つけたシャボン玉のひみつを1年生に教える。(1)			◎	○シャボン玉をつくる面白さやみんなで遊ぶ楽しさに気付いている。ウ	行動観察 発言

8 本時の展開

(1) 本時の目標

大きなシャボン玉を作るために道具や方法を工夫し, ひみつを見付けることができる。

(2) 準備物

指導者・・・食器用洗剤・たらい・シャボン玉を作るための道具

移動式のホワイトボード・ミニカード(青・赤)・模造紙

セロハンテープ・ガムテープ・ハサミなど道具を作るために必要な物

児童・・・シャボン玉を作るための道具

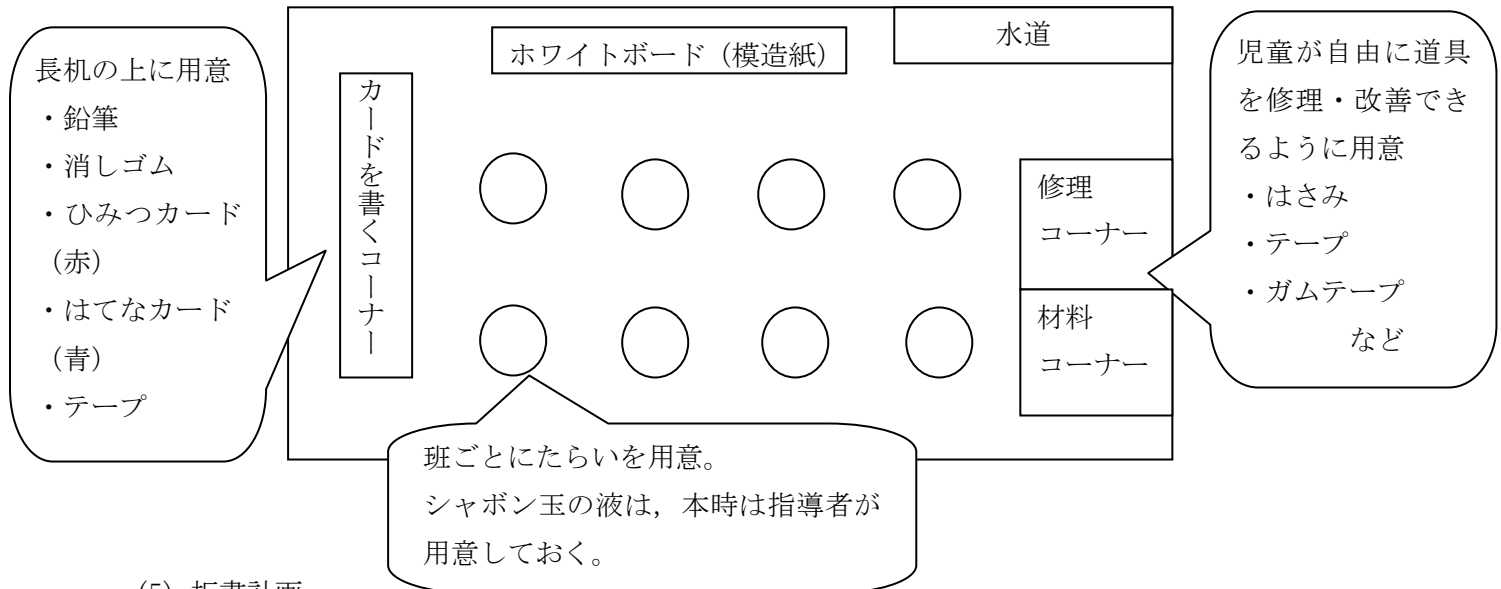
(3) 本時の展開

学習活動	想定される気付き (○) 気付きの質を高める支援・言葉がけ (☆)	評価規準 (◆) 評価方法【 】
1 前時の学習を振り返る。	☆ 大きなシャボン玉を作るために、どんな道具を作りましたか。 ○ 大きいペットボトルを半分に切って大きな穴にしたよ。 ○ ラップの芯の先をストローみたいに切って広げてみたよ。 ○ 針金で大きな丸を作ってみたよ。	
2 本時の学習のめあてを確認する。 3 学習の見通しをもつ。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">大きなシャボン玉をつくるひみつを見つけよう。</div> ☆ 大きなシャボン玉をつくるひみつはなんでしょう。 ○ 大きい穴のものをつかったらいい。 ○ ゆっくりしたらいい。	
4 いろいろな道具を使って、「大きなシャボン玉」をつくる。 道具を持って、運動場に出る。 班ごとに集まって、シャボン玉作りを始める。 気付きを「ひみつはっけんカード」に書いて、ホワイトボードの模造紙にはっていく。	☆ 指導者が身近なものでシャボン玉をつくる道具になりそうなものを、提示する。または、各自が持ってきたもの、前時に作ったものを用意させる。 ☆ どうやったら「大きなシャボン玉」をつくることができますか。 ○ ペットボトルを切ったら、穴が大きくなったよ。 ○ ラップはストローよりも大きいよ。 ○ 牛乳パックは四角だけど、丸いシャボン玉ができたよ。 ○ 二人で一緒に吹いたら、大きくなったよ。 ○ ペットボトルの大きいのは、膨らむけど、丸くならないよ。 ○ 大きすぎて息が続かないよ。 ☆ 大きいシャボン玉にするには、吹くよりも動かしてできる物のほうがやり易いことに気付かせる。 ○ ハンガーに毛糸を巻いたものでもできたよ。 ○ ハンガーだけだったら、すぐ割れるよ。 ○ 毛糸に液がたっぷりついているからかな。	◆ 大きなシャボン玉を完成させるための方法に気付いている。ウ 【行動観察・発言・カード】 気付けたい表現を使っている児童のつぶやきを全体に広げながら、思いのままに活動させる。 気付けたい表現 ○ 大きな穴から大きなしゃぼん玉ができる。 ○ 吹くよりも道具を動かして作る方が楽にできる。 ○ 液をたっぷり吸う物を巻くとよい。

言語活動の充実

<p>5 気づきを交流し、活動を振り返る。</p> <p>遊びの中での気づきをみんなの前で発表する場を設定することで、気づきを共有させる。</p>	<p>☆ 模造紙にはられているミニカードを整理しながら、まとめていく。</p> <p>☆ 大きいシャボン玉をつくるためのひみつは何だったでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 道具は大きいほうがいい。 ○ 吹くときは、ゆっくり吹く。 ○ 吹くより、吹かずにふわあっと動かしてつくるものの方が簡単にできる。 	
<p>6 次の活動への期待をもつ。</p>	<p>☆ 指導者が毛糸だけで、大きなシャボン玉を作ってみせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○毛糸だけしかつかってないのに、不思議。 ○やってみたい！！ 	

(4) 場の設定 運動場で実施 (雨天の場合は、体育館でブルーシートを敷いて実施)



(5) 板書計画

めあて

大きなシャボン玉をつくるひみつを見つけよう。

(よそう) 大きなあな? ゆっくりふく?

<p><大きなあな></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトル ・ラップのしん ・太いしん ・がようしを丸めたもの 	<p><ふきかた></p> <ul style="list-style-type: none"> ・そうっと ・ゆっくり ・いきをすこしずつふく ・はやくふいたらわれる ・二人やみんなでいっしょにふく 	<p><ふかずに うごかす></p> <ul style="list-style-type: none"> ・はりがねで丸をつくる ・はりがねに毛糸をまく ・タオルを丸くする ・ハンガーに毛糸をまく
---	---	---

毛糸がえきを いっぱいすいこんでるよ